



■第28回聖路加看護学会学術大会を終えて 学術大会会長 吉田千文(常磐大学)



第28回聖路加看護学会学術大会を、「Working Together:協働を探究する」のテーマで2023年9月18日(月・祝)から10月23日(月)までオンライン形式で開催しました。全参加登録者数は230人を超え、盛会となりました。

会期初日(9月18日)は、シンポジウム、パネルディスカッションの他、2つの交流集会、事例検討会のプログラムをライブ配信しました。一日を通して延べ439人が参加してくださいました。どのプログラムも大変興味深いものでした。シンポジウムでは、地域で協働を生み出し育てる先進的な取り組みや実践に感動しこれからの活動に向けたアイディアと勇気をもらいました。シンポジストの一人である菊田文夫氏は長野県佐久郡川上村の実習地から役場職員の方や学生と共に登壇されるなど、オンラインならではの斬新なプレゼンテーションもありました。パネルディスカッションでは、看護現場で人々の安全と尊厳をどう守るのかという難しい課題に対して、パネリストの政治家、学者、実践家のそれぞれの専門的立場からの鋭い発言や本音トークに刺激を受け深く考えさせられました。交流集会、事例検討会にも50人を超える参加者があり活発な交流が行われました。

会長講演のほか、8つの特別講演、2つのミニセミナー、36題の演題発表は、オンデマンド配信されました。今大会の特別講演は看護学、国際関係学、社会学、歴史学など多様な分野の研究者・実践家の方から「協働」についてお話いただきました。視聴された方からは、看護実践を原点に戻って考えることができた、協働を捉える新たな視点を得た、新しい知識を得て大変興味深かったなど、参加者それぞれが協働を探究されたことが伺えるフィードバックをいただいております。本学会周年事業委員会企画のミニセミナーでは、本学会設立と発展の経緯や裏話も伺うことができ、これからの学会の存在意義や展望について考えることができました。

本大会の趣旨をご理解いただきご協力いただきました講師、シンポジスト、パネリスト、そして座長、司会の皆様、全ての参加者の皆様にお礼申し上げます。会員の皆様には、日頃の研究と実践の成果の発表で大会を盛り上げてくださったことに感謝申し上げます。

本大会は、12の企業・団体様からのご支援、そして3団体(学校法人常磐大学、茨城県看護協会、日本在宅医療連合学会)の後援、石松伸一様、小松美穂子様からご寄付を賜りました。心より感謝申し上げます。最後に、事務局長奥裕美氏を含む企画委員、そしてビジョンブリッジ社に感謝申し上げます。財政的に厳しく、また多忙な中、ひとり一人が熱意と責任をもって丁寧に準備・運営を進めてくださいました。まさに「協働」の実践そのものでした。素晴らしいメンバーにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

大会長の機会を与えてくださいました片岡弥恵子理事長、亀井智子前理事長はじめ会員の皆様に感謝し、バトンを次期大会長野崎真奈美先生に渡したいと思っております。

■ 会員総会の報告

広報委員会 賀数勝太

2023 年度会会員総会は、第 28 回聖路加看護学会学術大会会期中の 9 月 18 日 12:50~13:50 に Zoom にて行われました。理事および会員を含めた参加者は 20 名程度で昨年度と同じでした。

冒頭に片岡弥恵子理事長より開会の挨拶があり、2022 年度の理事会及び定時評議委員会報告、庶務報告、会計活動報告、監査報告、委員会活動報告、2023 年度事業経過報告、30 周年事業報告が行われ、参加者を含めた全員にご承認いただきました。

また、第 49 回フローレンス・ナイチンゲール記章を今村節子名誉会員が受賞されたことが報告され、参加者全員で祝福いたしました。

最後に、第 29 回学術大会の野崎真奈美大会長より数年ぶりの現地開催についてご説明がありました。「看護のダイバーシティを拓く~守る価値観と変える価値観を見直す~」というテーマで、2024 年 9 月 28 日に聖路加国際大学本館にて開催予定です。

今回の会員総会も前年度に引き続きオンライン開催となりましたが、通信トラブルもなく閉会となりました。

次年度の学術大会が現地開催の予定となりますので、数年ぶりに会員のみなさんと対面でお会いできる会員総会を一同心待ちにしていることだと思います。

一般社団法人 聖路加看護学会 お昼時間オンライン開催!! 会員総会 2023年9月18日(月) 11:50~12:50 (SLNR第28回学術大会当日) シンポジウムの後の時間です!! 会員総会は 第28回聖路加看護学会学術大会中 皆様のご参加お待ちしております 意見交換時の ZOOM URL は、聖路加看護学会の会員宛 メールリストでお送り致します。 一般社団法人 聖路加看護学会事務局 〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学内 E-mail: slnr@sln.ac.jp	
--	--

Zoom による 2023 年度会会員総会の様子

■ 第 29 回聖路加看護学会学術大会のご案内

日時:2024 年 9 月 28 日(土)

会場:聖路加国際大学(現地対面開催)

テーマ:「看護のダイバーシティを拓く-守る価値観と変える価値観-」

学術大会会長:野崎 真奈美(順天堂大学医療看護学部/大学院 医療看護研究科・教授)



若い世代の看護師のチャレンジが増え、働き方も多様になり、医療や教育への非医療職・営利団体の関与も増えました。また、超高齢社会や AI の進展により、看護の主要概念である「健康」「環境」「人間」の捉え方にも変化が生じています。このような状況下でも、看護の重要性は揺らがない一方、看護の核を若い世代にどう伝えるかは課題です。現行の看護学のあり方や価値観において、再検討すべき部分が見過ごされている可能性もあり、固定観念を揺り動かす時期にきているのではないのでしょうか。

第 29 回学術大会では、時代が変わっても守り続けるべき価値観と変えてもよい価値観を見直す機会にできるよう特別講演では、菱沼典子先生に「看護の本質について」お話いただきます。その上で「働き方」と「教育」の 2 つの視点でシンポジウムを企画し、看護の核とは何か、そしてそれをどのように伝えていくべきかを問い直したいと思います。これらの議論を通して、多様な場で多様な働き方をする看護職による看護のダイバーシティの実現に向けての示唆を得たいと考えています。

また、ランチタイムには目ざす看護を実現するための方法について学ぶミニ講座を開きますので、是非ご参加ください。会員の方々には一般演題(口演、示説)発表もよろしくお願いいたします。

この学術大会で看護の本質、守るべき価値観と変えていく価値観について活発な意見交換をし、看護のダイバーシティを拓く場にしたいと考えております。対面による化学反応を期待しています。

多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

演 題 募 集 !
2024 年 4 月 8 日(月) ~

研究発表・実践報告
交流集会・事例検討
学生発表など

SLNR 第29回 聖路加看護学会学術大会
看護のダイバーシティを拓く
— 守る価値観と変える価値観 —



2024.9.28 [sat]

会場 聖路加国際大学
(東京都中央区明石 10-1)

内容 研究発表・実践報告・交流集会・事例検討・ミニセミナーなど

大会長 野崎真奈美(順天堂大学医療看護学部 教授)

詳細はホームページにて

SLNR 大会事務局 順天堂大学 医療看護学部(千葉県浦安市) 0329-slnr@gmail.com

■ HP の google アナリティクスを活用について

広報委員会 瀬戸山陽子

聖路加看護学会広報委員会では、2023 年度から HP へのアクセス状況を経時的に把握しており、1 日あたりのアクセス数や最も閲覧のあったページなどを確認しております。Google Analytics に記録がある 2023 年 4 月 13 日以降の月別の総セッション数（アクセス数）が図 1 の通りです。月別で最も高くなっているのは 9 月で、セッション数が 510、訪れたユーザー数は 362、平均セッション滞在時間は 1 分 14 秒でした。

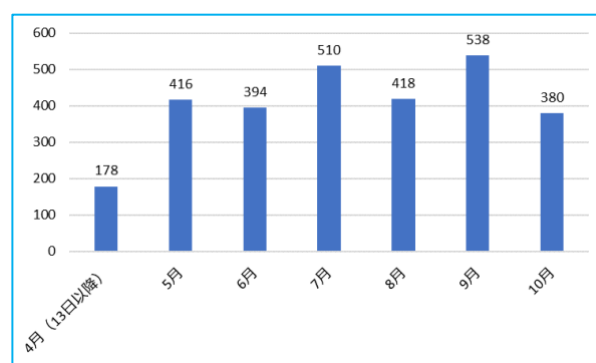


図 1: 月別セッション数(アクセス数)

4 月から 10 月まで、1 日当たりのユーザーは 20 前後で推移しているが、10 月 10 日（火）は 1 日 53 件のアクセスがあった（図 2）。この期間のページごとの閲覧状況では、最も見られているのは「トップページ」で、次いで、「第 28 回聖路加看護学会学術大会」「学会誌」という順番でした。

広報委員会では、Google Analytics を活用して学会 HP へのアクセス数が高まる時期などを調査して効果的な広報活動に努めていきたいと思います。

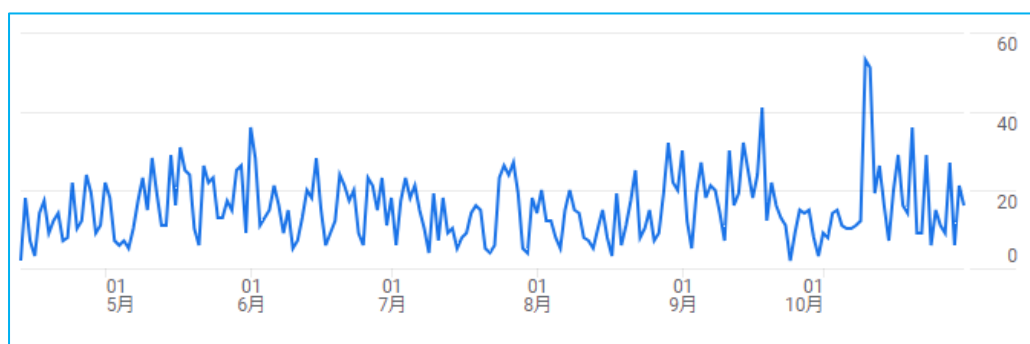


図 2: 7 月の 1 日当たりのユーザー数の推移

■ 学会誌編集委員会からのお知らせ

この度、本学会誌の投稿資格を変更し、共著者に非会員を含む論文の投稿を受け付けることとなりました（ただし、筆頭著者は聖路加看護学会会員であること）。共著者に非会員を含む論文の投稿受付は 2024 年度中に開始します。この場合、論文が採択された後に、掲載料一律 2 万円を納入していただき掲載となります。国内外の研究者、様々な職種の方々や当事者の方々と共同研究や実践に取り組まれている会員の皆様の投稿を心よりお待ちしております。

（担当：有森直子）

■ 学術交流委員会からのお知らせ

❖研究助成へのご応募を！

本学会では、毎年度「[看護実践科学研究助成基金研究助成（以下、研究助成）](#)」を行っています。2024 年度の研究助成の募集期間は **2023 年 12 月 1 日（金）～2024 年 1 月 31 日（水）**です。3 月末までに選考結果をお知らせします。詳細は学会ホームページをご覧ください。

❖学術交流集会「健やかに働く～カスタマーハラスメントと看護」

2024 年 3 月 14 日（木）18 時～19 時 50 分 オンライン開催予定

講師：島田恭子氏

（一般社団法人ココロバランス研究所・日本カスタマーハラスメント対応協会 代表理事）

参加費：学会員無料

多くの看護職が経験しているケア対象者や家族からのハラスメントに、適切に対処し、ケア対象者とパートナーシップを築くにはどうすべきか、学術的に検討したいと思います。

（担当：吉田千文、青木美紀子、高橋奈津子、鈴木美穂、佐藤直子、松本文奈、大森祥乃、牧野晃子）

■ 選挙管理委員会からのお知らせ

日頃より選挙管理委員会の活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。定款および評議員・役員選挙規程に基づき、2023 年 9 月 6 日～9 月 26 日の投票期間で評議員選挙を実施しました。投票いただきました会員の皆様にお礼申し上げます。また、2023 年 11 月 13 日～11 月 30 日の期間で、理事・監事選挙を行いました。こちらも選挙へのご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

（担当：高橋恵子、永井智子、西村恵理奈、相澤恵子、射場典子）

■ 高度実践看護開発検討委員会からのお知らせ

高度看護実践開発委員会主催の研修会を以下の日程で開催いたします。

詳細はホームページにポスターを掲載し、お申込みを受け付けております。

皆様のご参加お待ちしております。

●テーマ「[高度実践看護師の新たな挑戦にむけて](#)」

日時：2023 年 12 月 16 日（土）13 時 00 分～15 時 30 分 質疑応答含む

開催方法：リアルタイム・オンライン（会員・非会員とも無料）

講師：手島 恵氏 千葉大学大学院看護学研究院 教授 国際看護師協会（ICN）理事

榎戸文子氏 錦糸町クボタクリニック 看護実践博士 DNP

（担当：青木 悠、小林成光、小松崎朗子、山本加奈子、吉田智美、渡辺かづみ、柳橋礼子）

■ 庶務からのお知らせ

涼しい季節が続いており、年末の足音が聞こえてくる折柄、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。庶務では、学会活動の様々な側面から引き続き皆様のサポートできるように、引き続き取り組んで参ります。

今年度の学会費の納入がまだの方がいらしたら、年末を機にご対応くださるようお願い申し上げます。お困りのことがありましたら、学会事務局までご連絡いただけましたらと思います。また入会を随時受け付けています。当学会に関心をお持ちの方がお近くにいらしたら、ぜひホームページにある案内をお知らせいただけますと幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

(担当：大久保暢子、森田誠子、西垣佳織)

■ 会計からのお知らせ

会員の皆様には年会費納入にご協力いただきましてありがとうございます。活発な事業が展開できるのも皆様の会費納入によるものです。2023年10月31日現在、年会費未納の方は118名です。早急に納入をお願いします。本学会は、3年間年会費を滞納された方は除名となります。除名であっても学会員登録期間の未納分はお支払いいただきます。

学会は各会員が責任を果たすことで成り立ちます。どうぞよろしくお願いいたします。

(担当：平林優子、小林真朝、亀田典宏)

振り込み先：郵便振替口座

口座番号：00100-8-670371

加入者名：一般社団法人聖路加看護学会

■ 編集後記

令和がいよいよ6年目に入ろうとしていることに驚きを隠しきれませんが、小学校だと最終年度です。そう思って来年は何か節目になる年にしたいと思いました。皆様もぜひ。
(賀数勝太 佐居由美 松尾尚美 瀬戸山陽子 大橋久美子 竹森志穂 海老原樹恵)

ニュースレター発行や様々な情報をメーリングリストでお伝えします。

メールアドレスが変更された場合は、学会事務局 slnr@slcn.ac.jp までご連絡ください

一般社団法人 聖路加看護学会ニュースレター No.63

▶ 発行：2023年11月30日

▶ 編集：広報委員会

(賀数勝太 佐居由美 松尾尚美 瀬戸山陽子 大橋久美子 竹森志穂 海老原樹恵)

▶ 連絡先：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学内

[学会ホームページ] <https://slnr.or.jp/>

